

猫とかぼちゃ

梗概 猫が包丁を握っていたので、「これは包丁を抜いているねえ。私たちは殺されてしまうから、この猫を殺そう。」と思ってね。それで、このお婆さんは、この猫を殺して、家の後に埋めて、カボチャを植えたわけさ。カボチャを植えると、実が一つだけできて、大きくなったので、このお婆さんは、「では、このかぼちゃを食べてみよう。」と思って、煮たらしい。すると、たくさん泡がでたので、「めずらしいね、このかぼちゃは。これは、この猫の遺念だろう。これを食べたら大変だ。」と思って食べなかった。それで、その後から、猫は木に下げることになったそうさ。

話者情報 1900（明治 33）年生まれ 女性

記録日 1983 年 3 月 25 日

分類 本格昔話